行 政 視 察 報 告 書

令和８年　11　月　4　日

長浜市議会議長　中川　リョウ　様

長浜市議会議員　　岩川　信子

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

１．視察等名　　令和８年度産業建設常任委員会行政視察研修
２．視察期間　　令和８年１０月２８日（水）～１０月２９日（木）
３．視察場所及び目的
　①広島県尾道市
　　「観光振興について」
　②岡山県井原市
　　「地域農産物総合交流センター（葡萄浪漫館）について」
４．調査内容感想等

・視察の目的

① 広島県尾道市「観光振興について

尾道市は、歴史的な街並みや港、しまなみ海道を活用したサイクリング観光など、地域の特色ある資源を生かした観光振興に取り組んでいる。

本市においても、長浜城や黒壁スクエア、竹生島などの歴史・文化資源に加え、琵琶湖を生かしたビワイチなど、観光資源を有している。

今回の視察では、尾道市の観光施策や官民連携の取組、観光客の回遊性向上、滞在時間の延長、地域経済への波及効果などについて学び、本市の観光振興に生かすことを目的とする。

長　浜　市　議　会

② 岡山県井原市地域農産物総合交流センター（葡萄浪漫館）について

井原市の地域農産物総合交流センター「葡萄浪漫館」は、地域で生産されたブドウを中心とした農産物の販売や加工品の開発、地域交流などを通じて、農業振興と地域活性化に取り組んでいる施設である。

本市においても、近江米をはじめ、野菜や果物など地域の特色ある農産物が生産されているが、生産者の所得向上や販路拡大、農産物のブランド化、農業の担い手確保などが課題となっている。

今回の視察では、葡萄浪漫館の運営方法や生産者との連携、販売促進、農産物の付加価値向上に向けた取組を学び、本市の農業振興と地域農産物の販売促進に生かすことを目的とする。



↑

「尾道市議会では、出退表示を常任委員会ごとに区分することで、議員の所属や担当が一目でわかりやすく工夫されており、議会のわかりやすさ、見える化という点でも参考になります。」

・視察内容

① 広島県尾道市

尾道市では、歴史的な街並みや景観、しまなみ海道などの地域資源を生かし、国内外から観光客を呼び込む観光振興に取り組んでいる。

特に、しまなみ海道を中心としたサイクリング観光は、地域を代表する観光資源となっており、単に自転車で走るだけでなく、地域の飲食店や宿泊施設、観光施設などとの連携により、地域全体への経済効果につなげている点が特徴である。

その象徴的な取組として、令和８年 10 月 25 日には、国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ 2026」が開催された。普段は自転車で走行することができない高速道路本線を一部通行止めにしてコースとして活用する大規模なイベントであり、国内外から約 7,000 人の参加を見込んでいたところ、実際には約 6,000 人が参加した。海外からも 48 の国と地域から約 900 人が参加し、国際的な注目を集める大会となった　。

また、大会当日だけでなく、前日からの受付や地域の食を紹介するイベント、観光施設や店舗での参加者向け特典なども実施され、参加者が地域に滞在し、観光や飲食を楽しめる工夫がされていた。こうした取組は、宿泊や飲食、買い物など地域経済への波及効果にもつながるものである。

サイクリングしまなみ



2026　瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会

さらに、大規模大会だけに頼るのではなく、年間を通じたサイクリング観光の情報発信や受入環境の整備にも取り組み、継続的に観光客を呼び込む仕組みづくりを進めている。

また、行政だけでなく、観光関係団体や民間事業者、地域住民などが連携し、それぞれの役割を生かしながら観光地としての魅力向上に取り組んでいる点について説明を受けた。

今回の視察を通じて、観光客を呼び込むだけでなく、地域内を回遊してもらい、宿泊や飲食、買い物などにつなげ、滞在時間や消費額の増加を図ることが、持続的な観光振興に重要であることを学んだ。

② 岡山県井原市



葡萄浪漫館は、地域で生産されたブドウを中心に、農産物の直売や加工品の販売などを行う施設であり、生産者と消費者をつなぐ地域農業の拠点として運営されている。

特に、地域特産のブドウについては、品質や品種の魅力を生かした販売に加え、贈答用や全国発送などにも取り組み、地域外への販路拡大を図っている。また、生鮮農産物の販売だけでなく、加工品の開発や販売、イベントの開催などを通じて、地域の魅力発信と集客につなげている。

こうした取組は、農産物の販売促進だけでなく、生産者の所得向上や地域農業の活性化にもつながるものであり、地域の特産品を生かした農業振興のあり方について参考となった。

一方、施設は広大な敷地を有しており、建物や周辺環境の維持管理など、継続的な管理運営が必要となる。また、ブドウ園が山間部に位置することから、イノシシやシカ、サルに加え、近年ではアライグマなどによる被害も発生しており、農作物を守るための獣害対策が、生産者にとって大きな課題となっている。農産物の生産を守るための対策が重要であることを改めて認識した。こうした獣害は、本市においても農業者が共通して抱える課題であり、地域全体で取り組む必要がある。

さらに、施設の運営については、指定管理期間の満了に伴う今後の運営体制や譲渡に向けた協議など、まだ調整が必要な事項も残されており、安定的な運営を継続していくための課題についても説明を受けた。

今回の視察では、地域農産物の販売拠点としての役割だけでなく、施設の維持管理、運営主体のあり方、獣害対策や生産者への支援など、地域農業を持続させていくためには多方面からの取組が必要であることを学んだ。



「井原市は『デニムの聖地』としても知られ、地域の地場産業であるデニムの魅力を広く発信している。JR 列車にもデニムをイメージしたラッピングを施し、鉄道を通じた地域ブランドの PR や観光誘客につなげている。地域の特色ある産業をまちの魅力として発信する取組が印象的であった。」



長　浜　市　議　会

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

尾道市観光振興での視察では

本市には、長浜城や黒壁スクエア、竹生島などの歴史・文化・観光資源に加え、琵琶湖岸を走るビワイチという大きな観光資源がある。

尾道市の取組を参考に、ビワイチを単なる通過型の観光に終わらせるのではなく、サイクリングをきっかけに市街地や湖岸、湖北地域の観光資源を結びつけ、地域内の回遊性を高める仕組みづくりが重要である。

本市では、先日、ながはまえきまちテラスにジャイアントストアがプレオープンした。長浜駅に近く、琵琶湖岸のサイクリングロードへのアクセスにも恵まれた立地であることから、今後はこうした民間事業者との連携を深め、長浜駅周辺をサイクリング観光の拠点として活用していくことが期待される。

具体的には、自転車の貸出しや返却、駐輪場、休憩場所、荷物預かりなどの受入環境の充実に加え、飲食店や宿泊施設、土産物店などとの連携を進めることで、サイクリストが市内に立ち寄り、食事や買い物、宿泊を楽しめる環境づくりが必要である。

また、大規模なサイクリングイベントの開催や年間を通じた情報発信なども視野に入れ、行政と民間事業者、観光関係団体が一体となって取り組むことで、観光客の滞在時間の延長と地域消費の拡大につなげていきたい。



葡萄浪漫館の視察においては

今回の視察を通じて、農産物の販売拠点を整備するだけでなく、生産者の所得向上や販路拡大、加工品の開発、施設の持続可能な運営までを一体的に考えることの重要性を学んだ。

本市においても、近江米や地元野菜、果物などの特色ある農産物について、生産者が安心して出荷・販売できる仕組みづくりや、加工品の開発、ブランド化、インターネット販売などによる販路拡大を進める必要がある。

また、農業者の高齢化や後継者不足に加え、イノシシやシカ、サルなどによる従来からの獣害に加え、近年ではアライグマなどによる被害も課題となっている。井原市でも同様の被害が発生していることから、地域の実情に応じた防護対策や捕獲対策など、農業者だけに負担を負わせることのない、地域ぐるみの継続的な支援が重要である。

さらに、農産物の販売施設については、設置することが目的ではなく、生産者や地域の関係者が主体的に関わり、将来にわたって安定した運営ができる体制を整える必要がある。今回の視察では、指定管理期間満了後の施設の運営体制についても協議・調整が必要な状況にあることを踏まえ、施設の維持管理や修繕費用、運営主体の責任など、長期的な視点で検討することの重要性を認識した。

今後は、葡萄浪漫館の取組を参考に、本市の地域農産物の付加価値向上と販売促進を図るとともに、獣害対策の充実や農業者が安心して生産を続けられる環境づくり、さらには地域の実情に合った持続可能な施設運営のあり方についても、今後の農業振興施策に生かしていきたい。

以上のことから　　今回の２市の視察を通じて、地域が持つ歴史・文化・自然・農産物などの資源を生かし、観光や農業を地域経済の活性化につなげていくことの重要性を学んだ。

また、行政だけで取り組むのではなく、民間事業者や地域の生産者、関係団体との連携を深め、それぞれの強みを生かした持続可能な仕組みづくりが重要であると感じた。

本市においても、地域資源を点ではなく線や面としてつなぎ、観光客の回遊性向上や農産物の販路拡大、生産者の所得向上につなげることで、地域全体の活性化を図っていく必要がある。

尾道市役所の議場



葡萄浪漫館

